



# 個人投資家向け説明資料

2016年5月30日/31日  
Jトラスト株式会社

1. 会社紹介
2. Jトラストの“強み”
3. 事業紹介
4. 業績
5. 中期経営計画
6. 株主の皆様への取り組み
7. 配当政策

# 免責事項

- 本資料に記載された将来情報などは資料作成時点での当社の認識、意見、判断または予測であり、その実現を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- 本資料に記載した国際財務報告基準（IFRS）に基づく数値は、参考のために当社が独自で算定した未監査の数値であることをご承知おき下さい。
- また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供のみを目的としたものであり、当社または子会社が発行する有価証券への投資を勧誘、助言、推奨するものではありません。
- 本資料において「親会社株主に帰属する当期純利益」は「当期純利益」と表示しております。



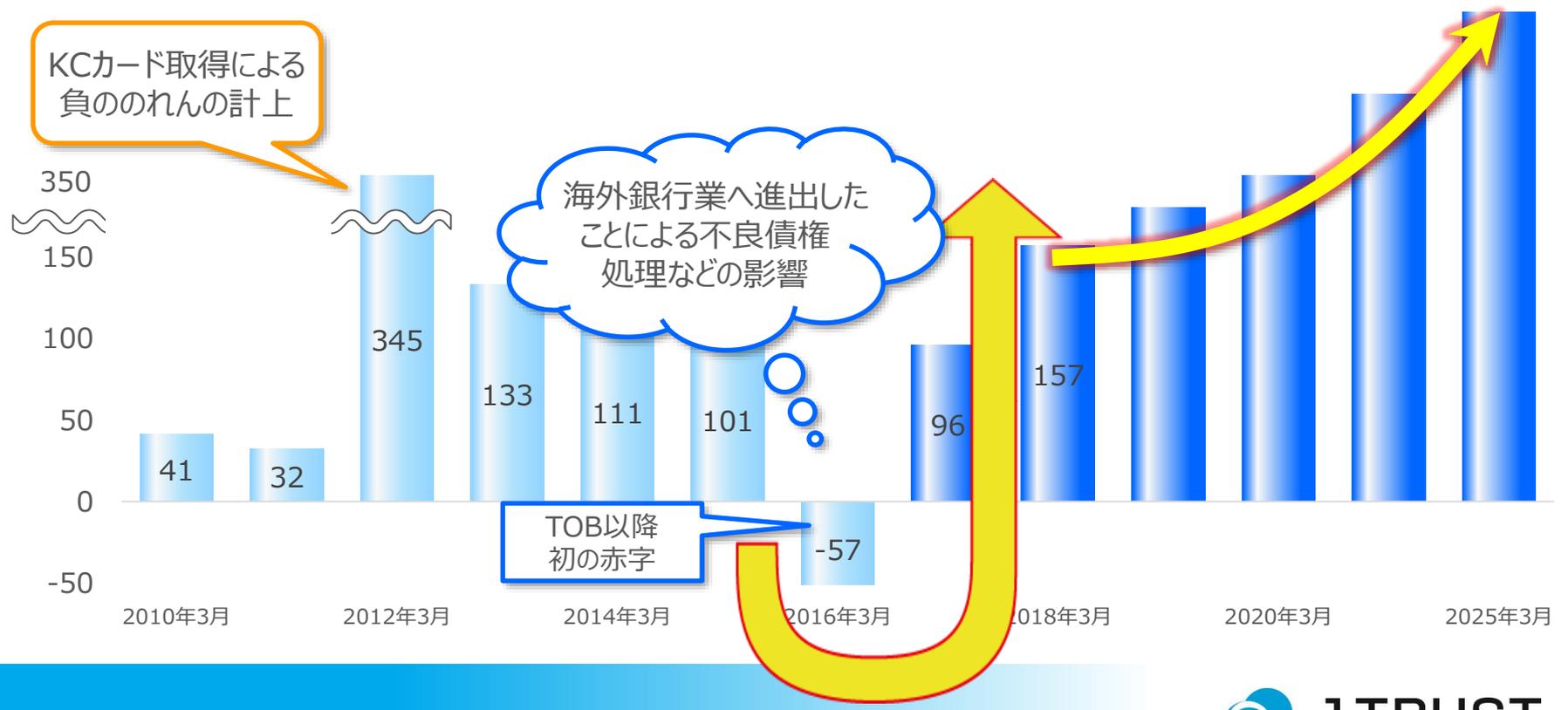
# はじめに

一、安い時に買う

# J字回復後、持続的な成長を目指す

単位：億円

## 当期純利益の推移イメージ





# 1. 会社紹介

## グループビジョン

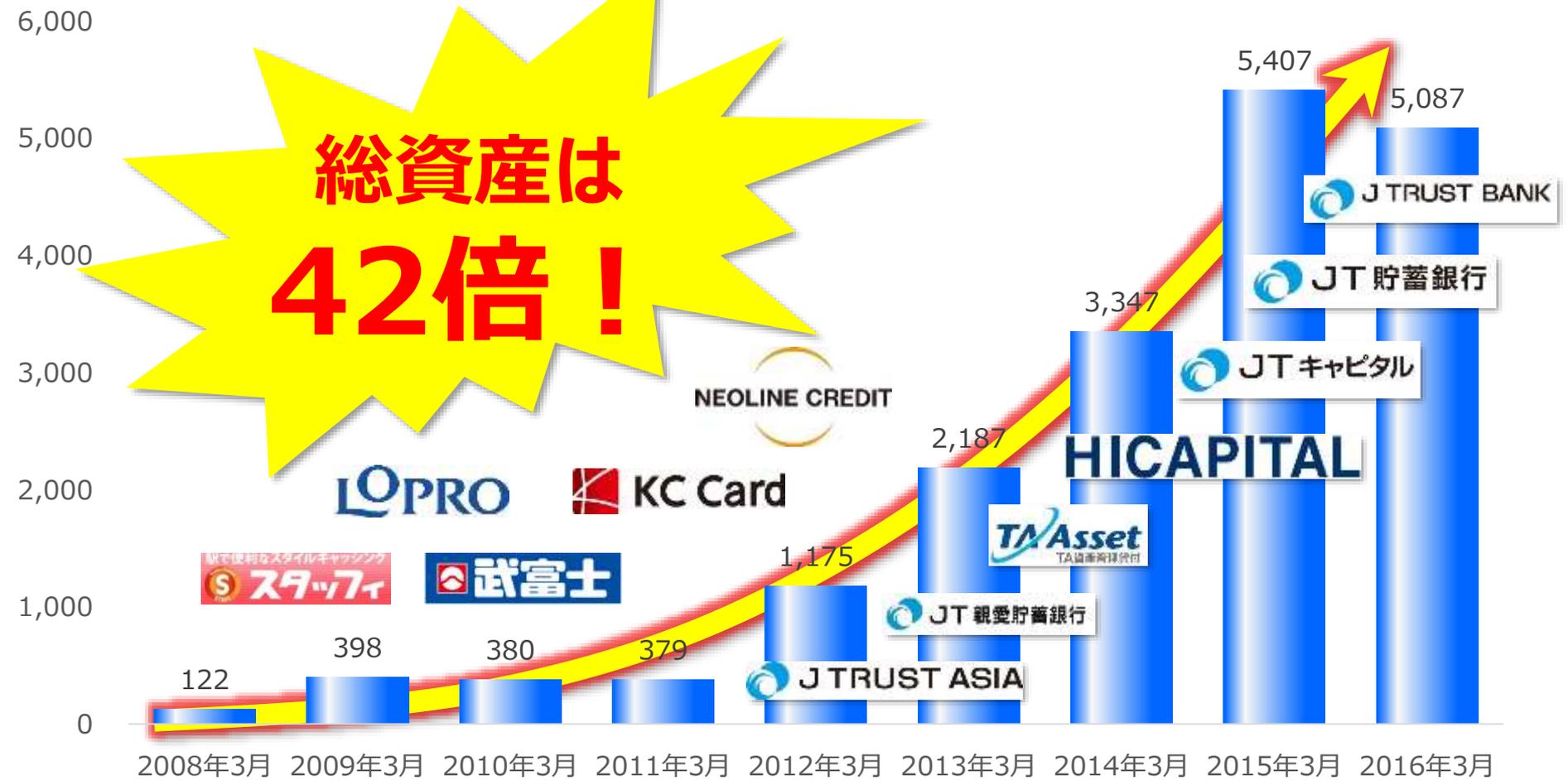
 J TRUST  
= SoftBank  facebook.  
Google Microsoft etc..

 J TRUST  
= SoftBank  facebook.  
Google Microsoft

**既成概念にとらわれない  
ファイナンシャルサービスを!!**

## 総資産は120億円から5,000億円超

単位：億円



## 営業収益は32億円から755億円に

単位：億円

営業収益は  
**24倍！**



## 株価は2008年当時と比較し55倍に



※過去の株価は調整前（分割等考慮せず）

# 既成概念にとらわれない金融サービスグループ<sup>®</sup>

なんと

日本では

8年間で

株価 **55倍!**

総資産 **42倍!**

営業収益 **24倍!**

さらに!

ライツ・オフリングで調達した**976億円**は**国内最多額!**  
(2013年7月)

## 既成概念にとらわれない金融サービスグループ

### 韓国も…

わずか3年で、営業資産が7倍に!

ライセンス取得から 1週間で銀行をオープン!

韓国初となる 消費者金融事業を貯蓄銀行へ統合!

ヨーロッパ大手のSCグループから 貯蓄銀行とキャピタル会社を取得!  
SC:スタンダードチャータード キャピタル会社:リース/割賦会社

韓国初となる 貯蓄銀行の地上波CMを開始!

## 既成概念にとらわれない金融サービスグループ

# そしてインドネシアでは

### 商業銀行の株式100%取得

(2012年に外資規制が制定された以降、株式100%取得は当社だけ)



**経営の  
スピード化**

日本・韓国で構築したインフラの導入により

**早期に利益創出が実現**

# Jトラストの歴史



1977年  
創業

1998年  
上場

2008年  
代表取締役  
藤澤信義が  
個人でTOB

2011年  
韓国に進出

2014年  
インドネシア  
銀行業に進出

2013年  
シンガポールに  
進出

2012年  
銀行業  
免許取得





## 2. Jトラストの“強み”

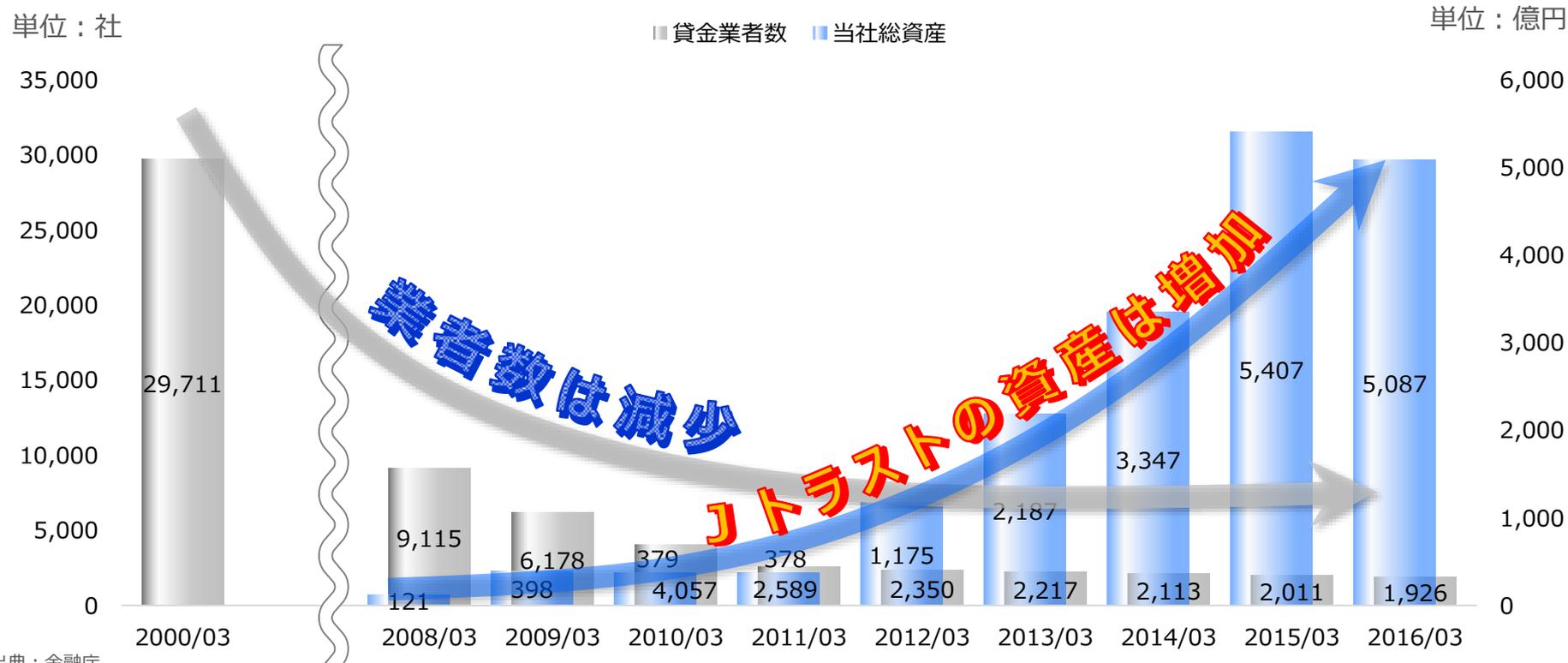
一、不況に強い

Jトラスト

一、徹底的な逆張り

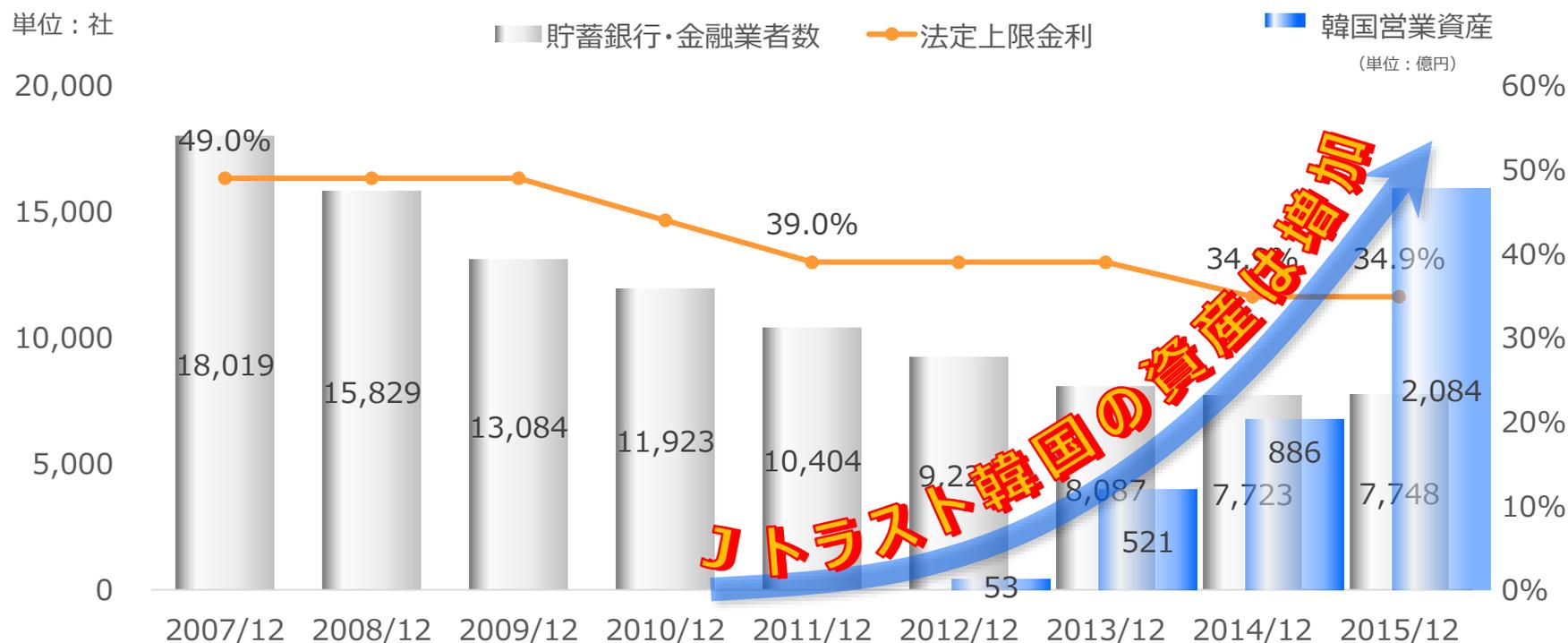
# 徹底的な“逆張り”のM&A

日本における貸金業者数と当社総資産の推移



# 韓国でも徹底的な“逆張り”

### 韓国における貯蓄銀行および金融業者数の推移と金利の推移



出典：貯蓄銀行中央会および韓国企業評価リサーチ資料

# 成長を支える“Jトラストテクノロジー”！



### ① 目利き力

M & Aを実施したのち、グループアウトした会社からのリターン

 **KC Card** IRR 83%

現：ワイジェイカード（ソフトバンクグループ）

 **LCD GLOBAL INVESTMENTS** IRR 42%

シンガポール株式市場上場会社

**HICAPITAL** IRR 5%

元：現代（ヒュンダイ）グループ貸付会社

 IRR 18%

株式会社 エーエーディ

現：健康コーポレーション子会社  
（ライザップ）

 IRR 28%

NEOLINE CREDIT

投資リターン率

**35%**

## ② オペレーションノウハウ（人間力）



さまざまな人財が集結  
ノウハウが蓄積

③-1 高い資本力



自己資本 **1,631億円**  
自己資本比率 **32.1%**

③-2 高いキャッシュポジション



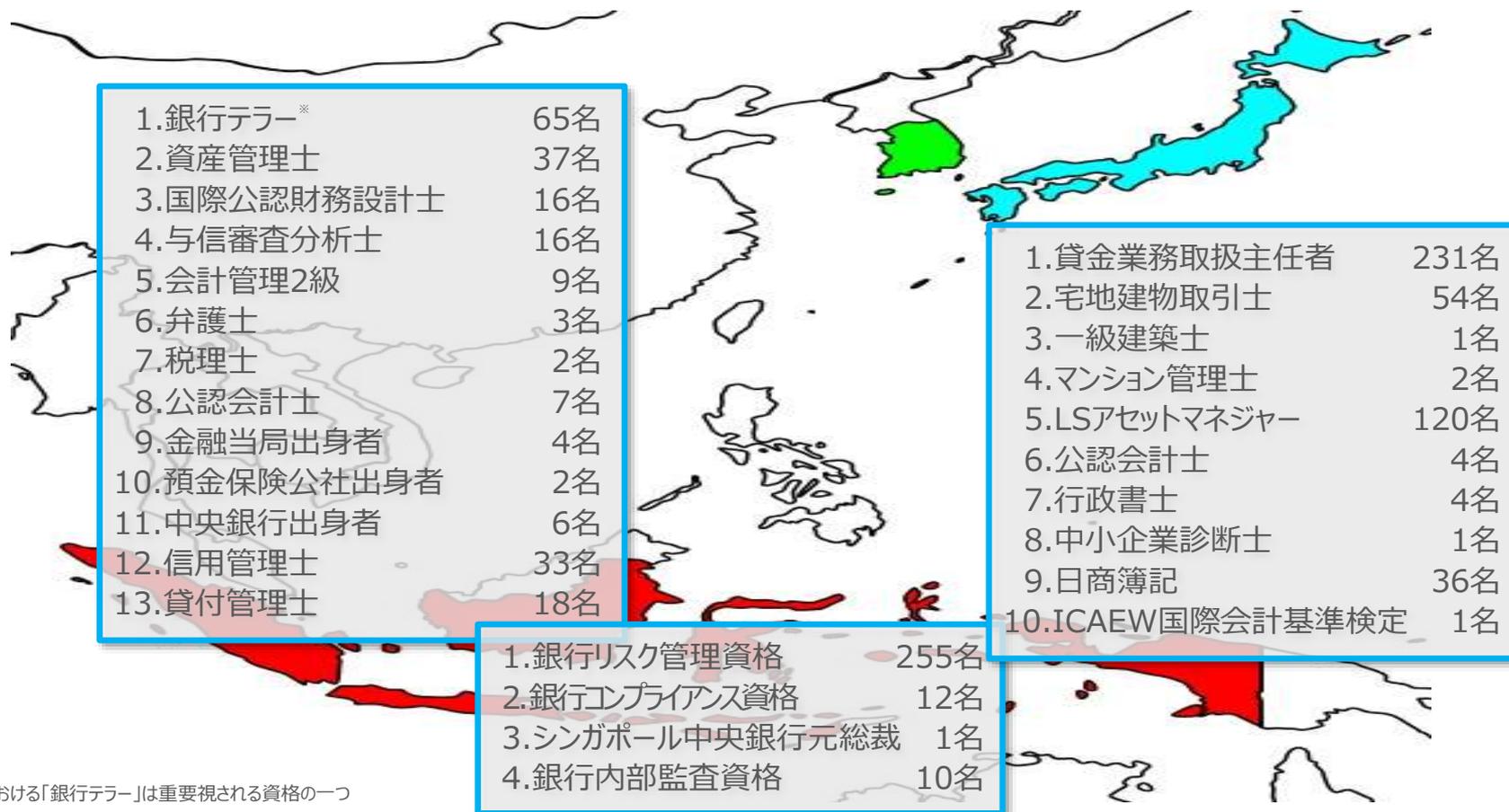
2016年3月末

1,087億円

の現預金を保有！

# 高い専門性と知識を有する役職員がグローバルに活躍

### 専門資格取得者の状況



※ 韓国における「銀行テラー」は重要視される資格の一つ

## 経験豊富な経営陣

### 日本



浅野 樹美 千葉 信育 藤澤 信義 足立 伸 明珍 徹

取締役 常務執行役員  
 代表取締役 専務執行役員  
 代表取締役社長 最高執行役員  
 取締役 専務執行役員  
 取締役 常務執行役員  
新生銀行 常務執行役員  
 法人担当役員出身

### 韓国



日本の金融業界に23年間勤務。金融、クレジットカード会社の代表取締役を歴任

J Trust代表取締役  
 JTキャピタル代表理事  
 JT親愛貯蓄銀行理事



韓国銀行の主要部局および各種金融機関のマネジメントを歴任

J T 親愛貯蓄銀行  
 代表理事



日本の銀行出身  
 日本において金融会社の取締役を歴任

JT親愛貯蓄銀行理事  
 JT貯蓄銀行理事



韓国において貯蓄銀行および金融会社のマネジメントを歴任

J T 貯蓄銀行  
 代表理事

### 東南アジア



日本の財務省にて26年勤務

プレジデント  
 コミッショナー（会長）



インドネシアの銀行業界で25年の経験

代表取締役社長



シンガポール中央銀行元総裁

独立理事  
 （社外監査役）



BNP銀行元頭取  
 2013年「インドネシア  
 ベスト頭取賞2013」を受賞

取締役



国内において代表取締役社長、海外上場会社において取締役を歴任

取締役  
 常務執行役員



日本と韓国において金融会社および貯蓄銀行のマネジメントを歴任

T A 資産管理貸付  
 代表理事



金融監督院監督総括局長および人材開発室教授

JT親愛貯蓄銀行  
 常勤監査委員



新韓銀行の営業本部長出身  
 2005年には韓国の産業褒賞を受勲

J T キャピタル  
 代表理事



金融監督院副局長  
 韓国銀行課長

TA資産管理  
 貸付監査



# 3. 事業紹介

# 国内/韓国/東南アジアで事業を推進

投資事業  
26億円



国内金融事業  
108億円



東南アジア金融事業  
123億円



非金融事業  
228億円



韓国金融事業  
255億円



# 収益の柱は、信用保証事業とサービス事業

信用保証事業



サービス事業



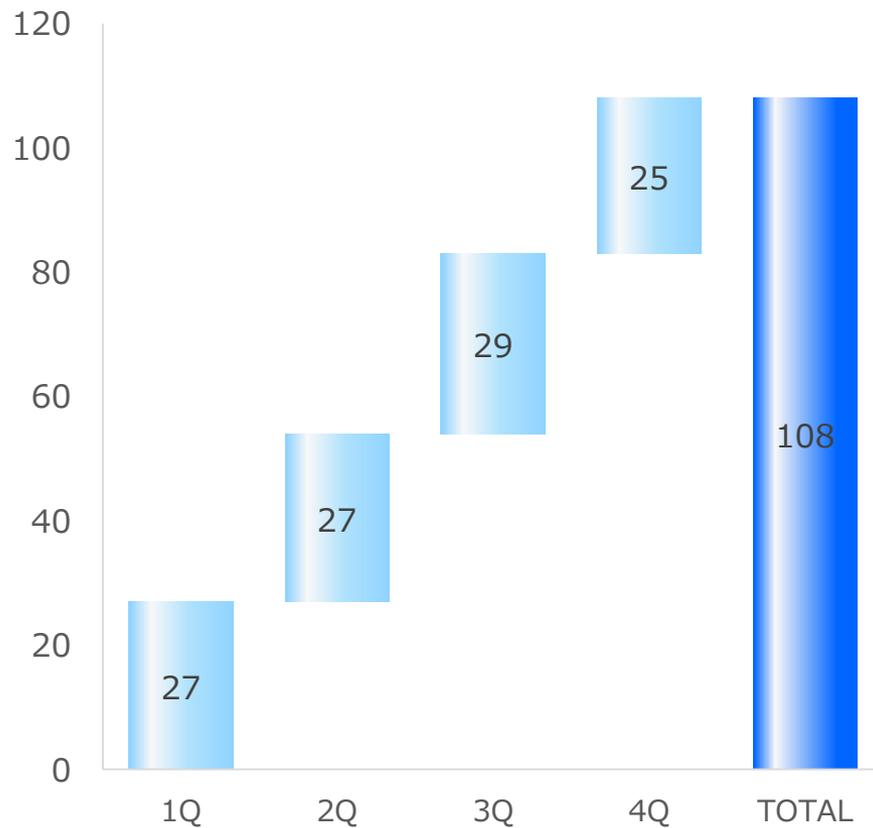
クレジットカード事業



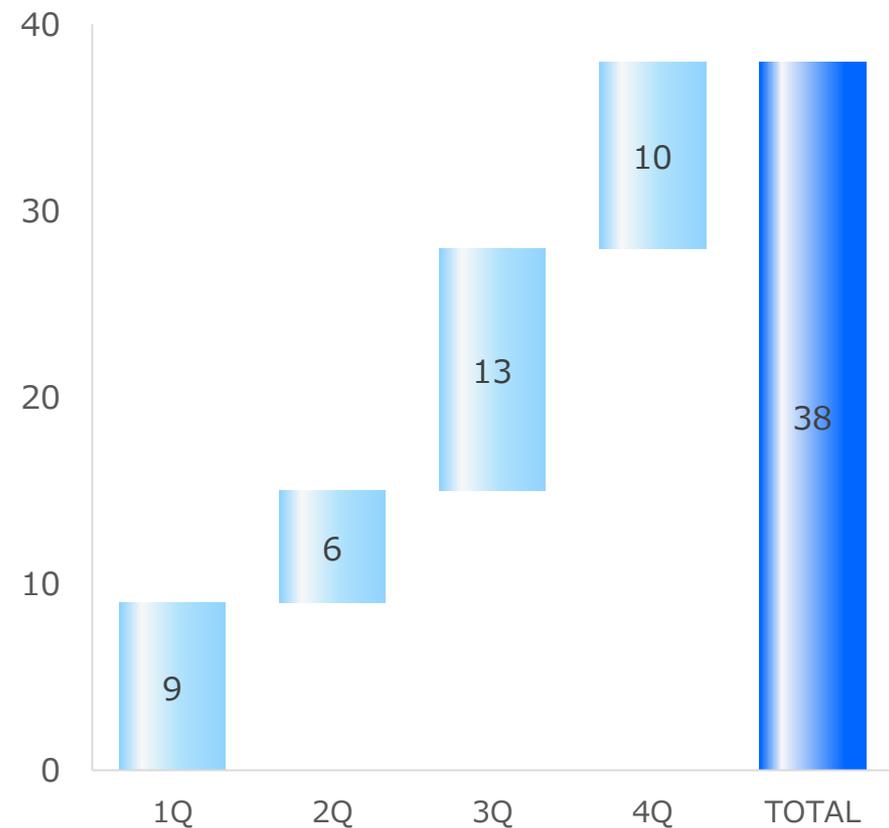
## 安定した収益・利益を計上

単位：億円

#### 営業収益



#### 営業利益

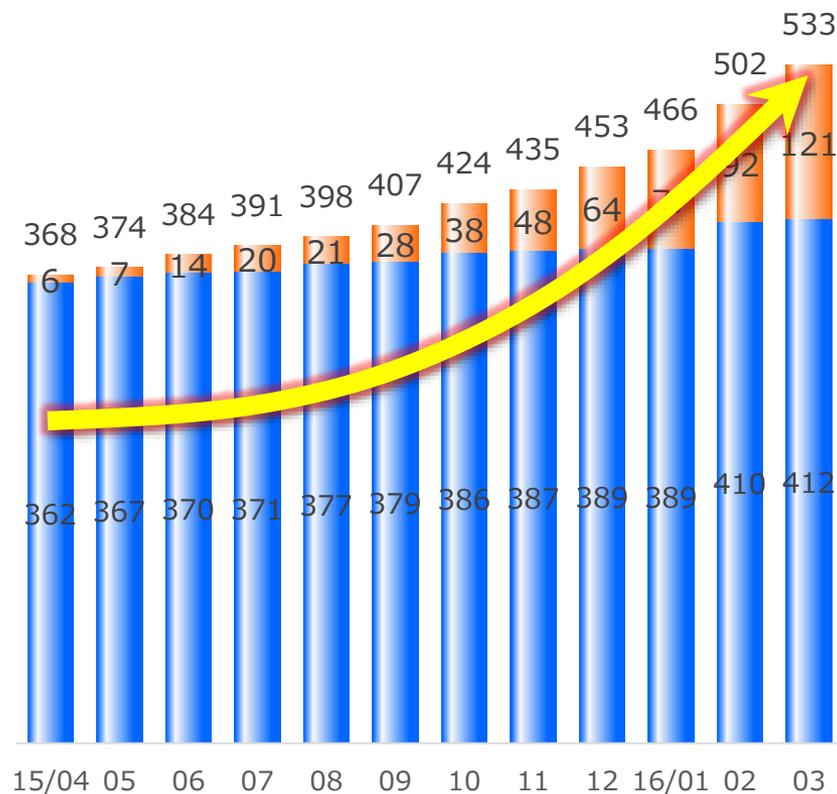


## 信用保証事業も順調に伸長

日本保証における保証残高の推移

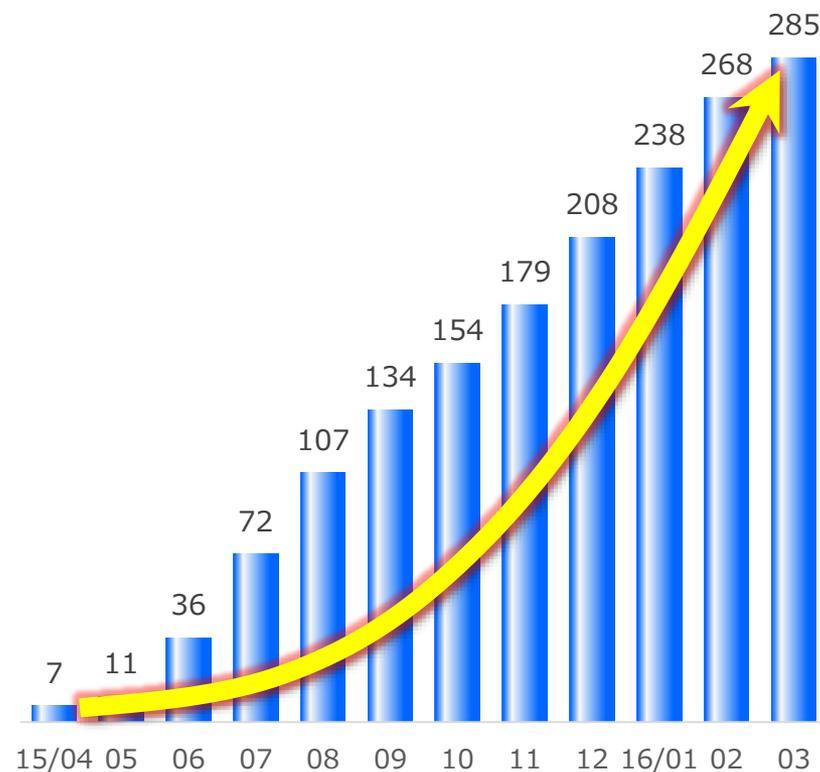
単位：億円

■ 債務保証残高 ■ アパートローン 合計



アパートローン本承認累計金額

単位：億円



# ビットコイン取引所「J-Bits」が6月オープン予定

「お客様に安心してご利用いただける取引所づくり」を基本にシステムを構築



※PC画面イメージ



- ⇒徹底した**コンプライアンス体制**
- ⇒**銀行出身者**による**システム開発**
- ⇒お客様のビットコインに触れることが不可能  
**(コールドウォレット方式) を採用**

※スマートフォン画面イメージ



# 貯蓄銀行業/キャピタル事業/サービサー事業

貯蓄銀行業



キャピタル事業



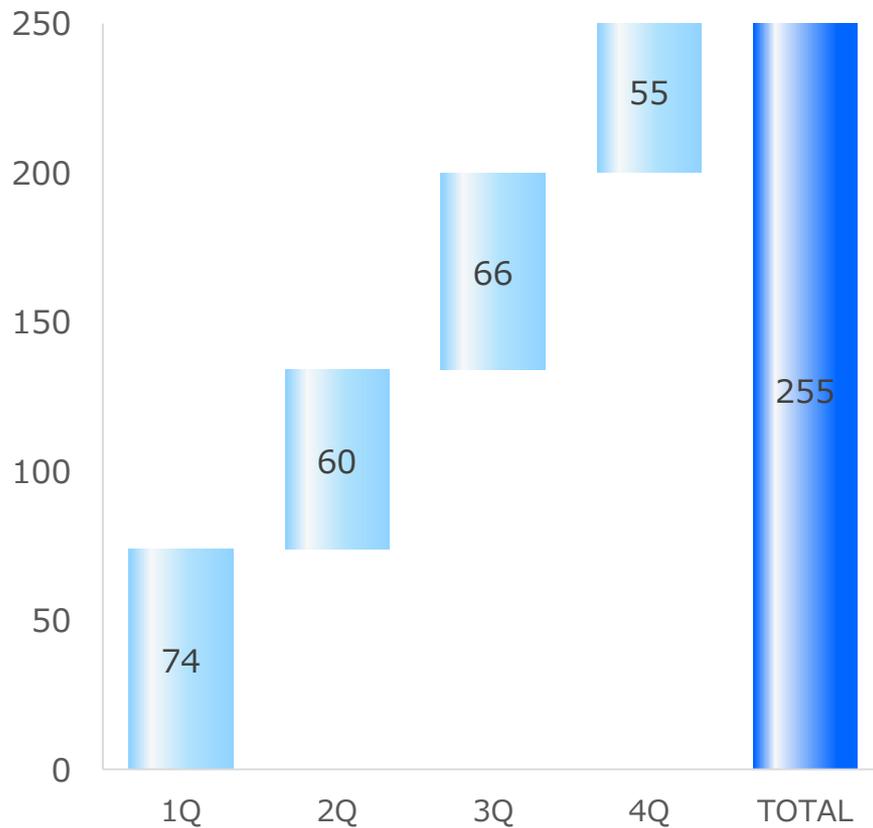
サービサー事業



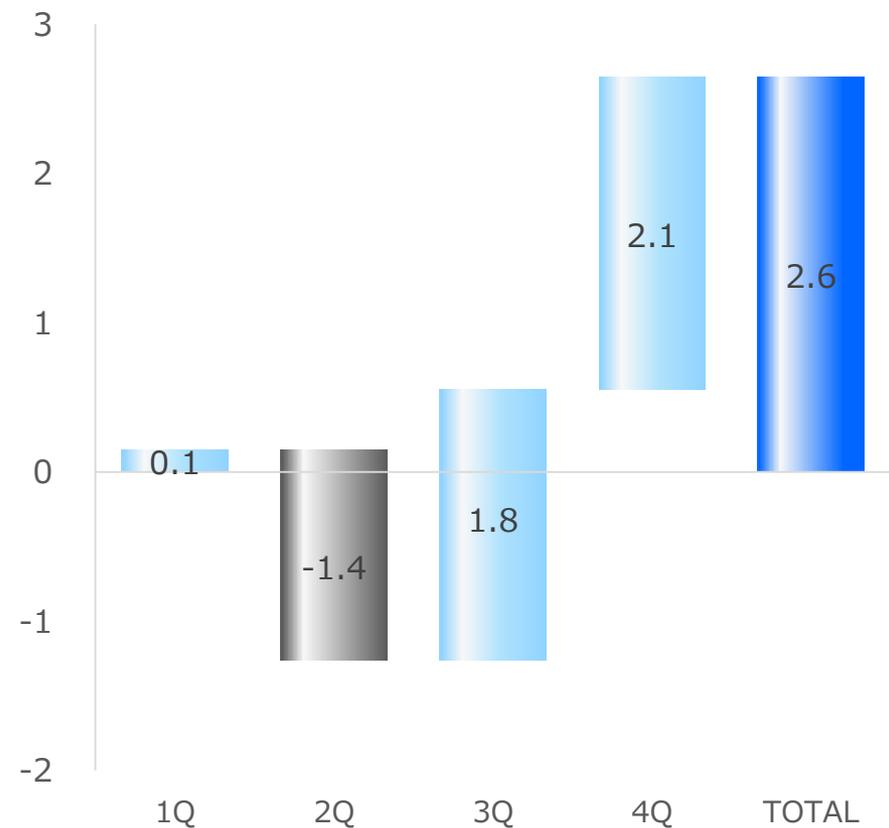
## 前期より安定した利益を創出

単位：億円

### 営業収益



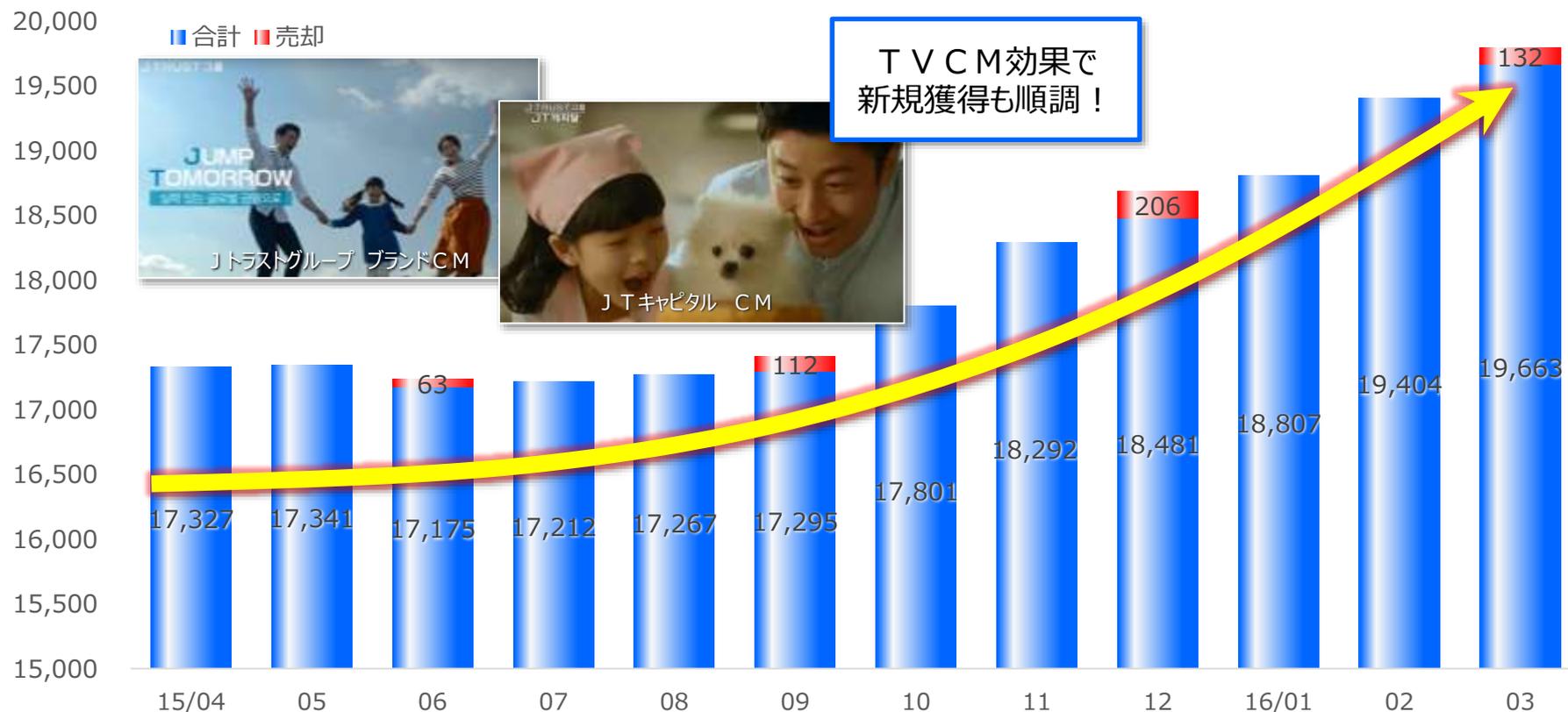
### 営業利益



# 2016年4月には2兆ウォンを突破

## 貸付金残高推移

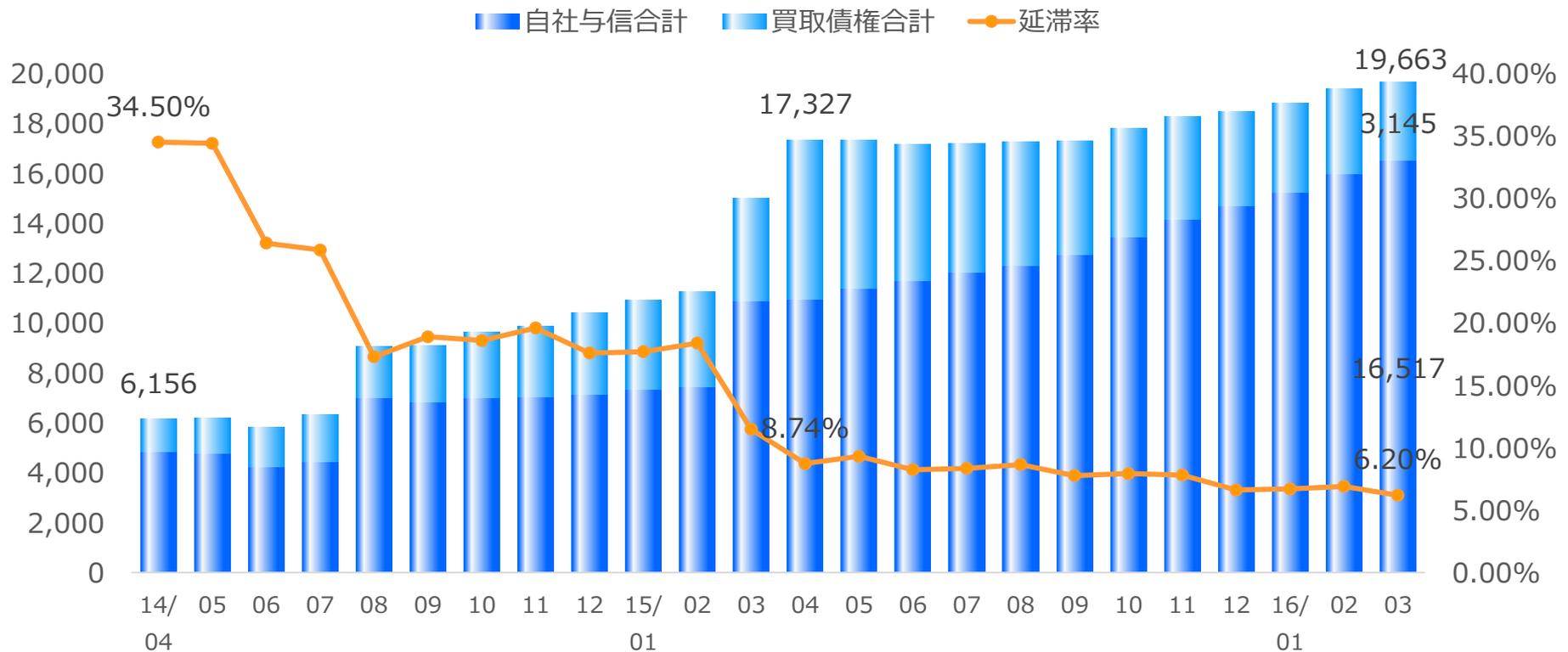
単位：億ウォン



# 不良債権も低位で安定推移

貯蓄銀行/キャピタルの残高および30日以上延滞率の推移

単位：億ウォン



## 2年半で通期黒字に

 JT 親愛貯蓄銀行

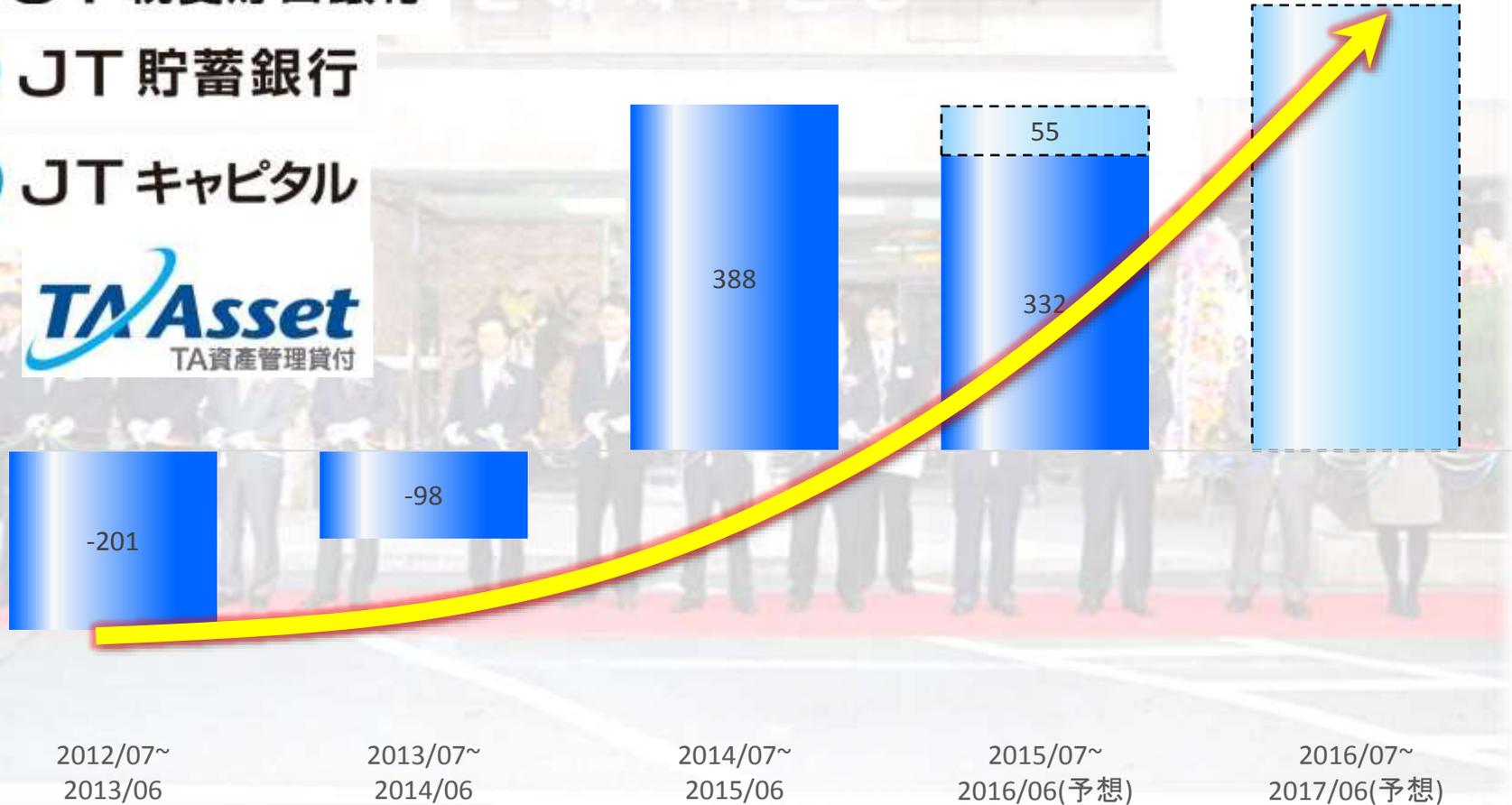
 JT 貯蓄銀行

 JT キャピタル

 TA Asset  
TA資産管理貸付

K-GAAP営業利益

単位：億ウォン



## 全貯蓄銀行中“一番”の称号

### ファーストブランド大賞

#### ➤ ファーストブランド大賞とは・・・

2016年度ファーストブランド賞受賞、貯蓄銀行部門  
(79行中)第1位を獲得(全54部門)  
韓国消費者からの高い評価・支持を得て大きく成長  
日本企業の選定はセブンイレブンとJT親愛貯蓄銀行  
の2社のみ



## コンプライアンスを最重要課題として位置づけ

### アジュ経済金融証券大賞

➤ アジュ経済金融証券大賞とは・・・

2015年12月、グローバル総合経済誌アジュ経済による『アジュ経済金融証券大賞』において『信頼経営部門』の大賞を受賞  
本賞は、韓国内の全金融業界が対象  
顧客との信頼関係構築と徹底したコンプライアンス体制による経営の透明性向上で、**信頼できる企業である事が認められた**



アジュ経済対象授賞式



社内教育の風景

# 人口2億5千万人の地の利を活かす

## 銀行業



## サービス事業

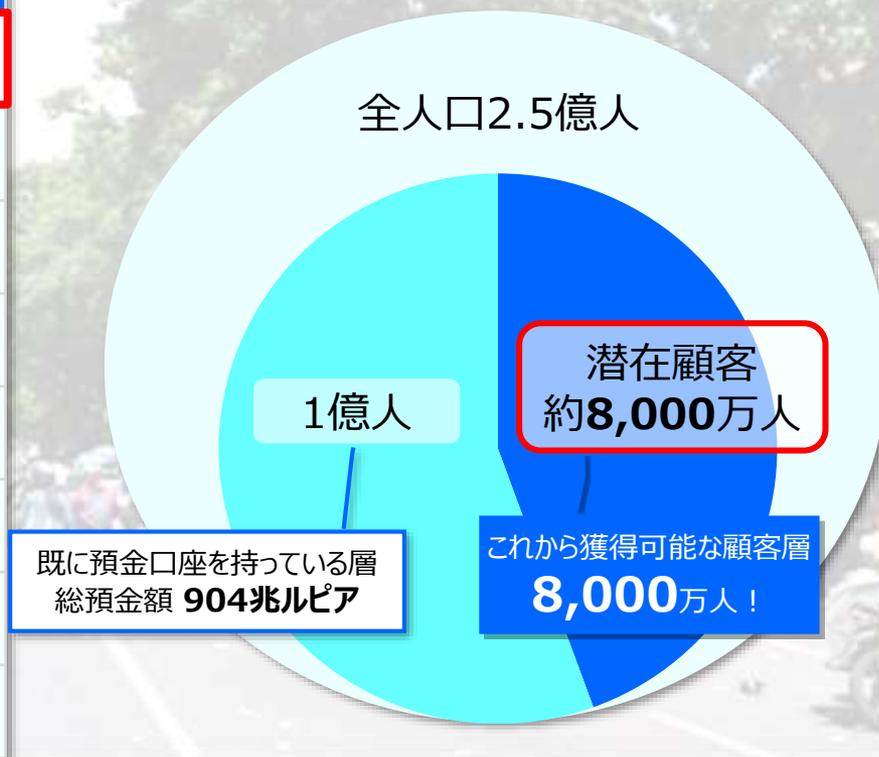


# インドネシアのポテンシャル

東南アジアの人口と平均年齢

国名	人口	平均年齢
インドネシア	約2億5,000万人	約28歳
ベトナム	約9,000万人	約28歳
フィリピン	約9,000万人	約23歳
タイ	約6,500万人	約34歳
ミャンマー	約6,500万人	約27歳
カンボジア	約3,000万人	約22歳
マレーシア	約3,000万人	約27歳
シンガポール	約550万人	約38歳

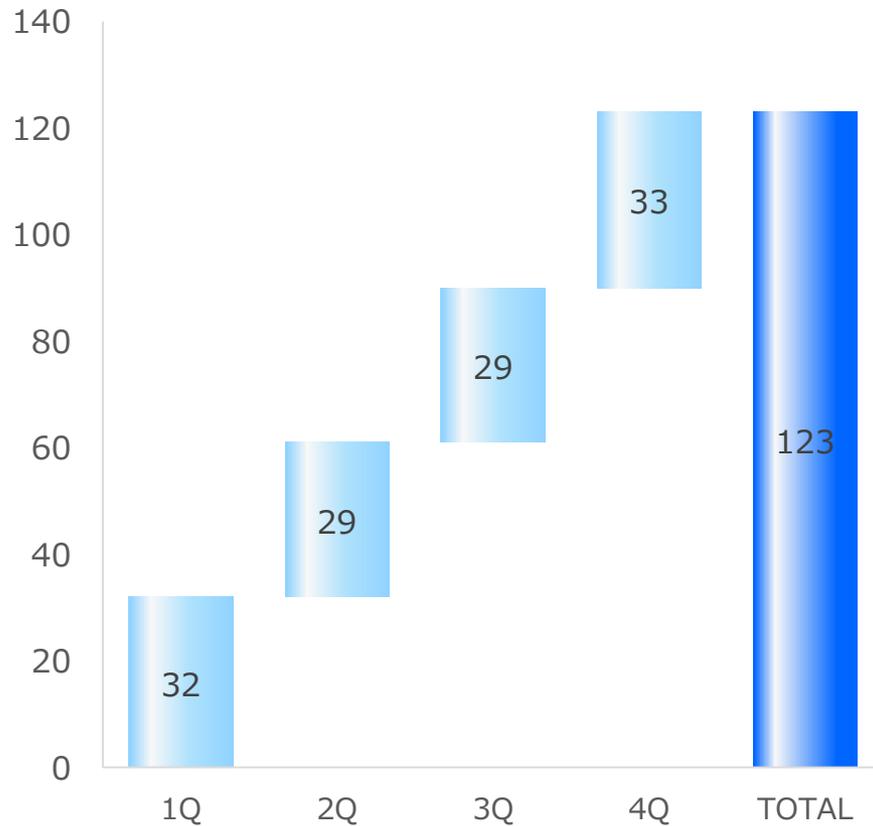
Jトラストインドネシア銀行のターゲット層



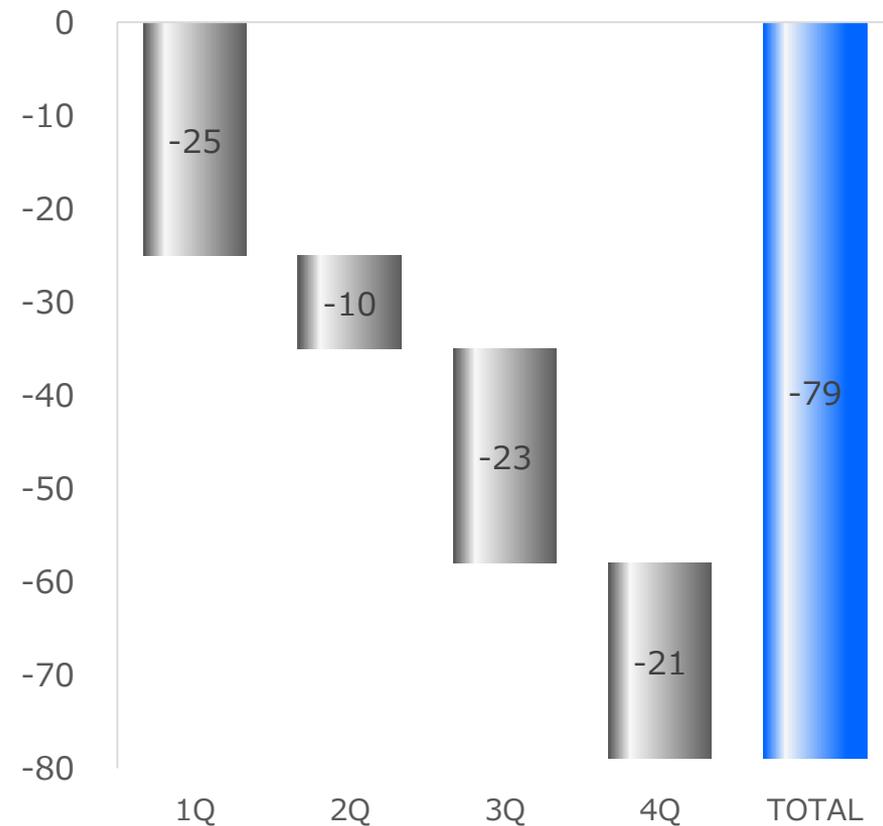
前期は再生処理により赤字となったが...

単位：億円

#### 営業収益

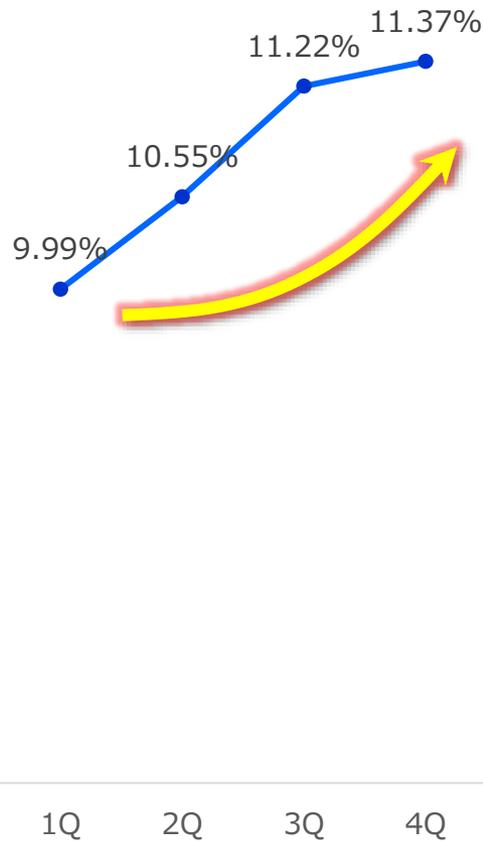


#### 営業利益

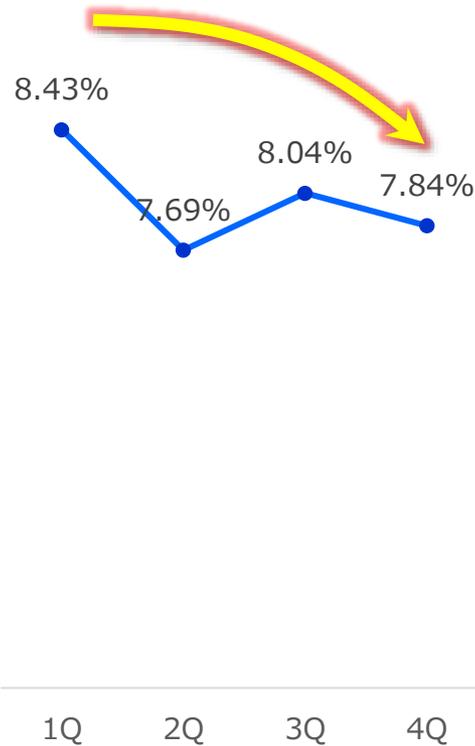


# 純金利収入（金利収入-利息費用）は着実に増加

平均貸出金利

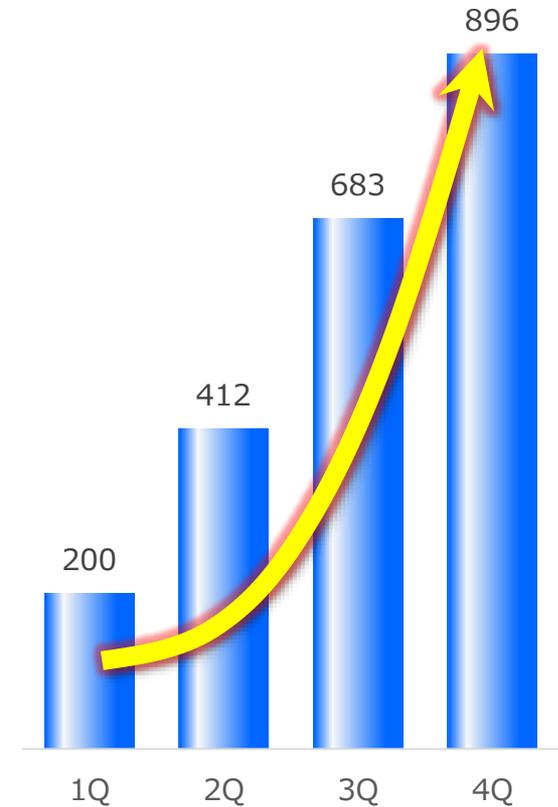


平均預金金利



純金利収入

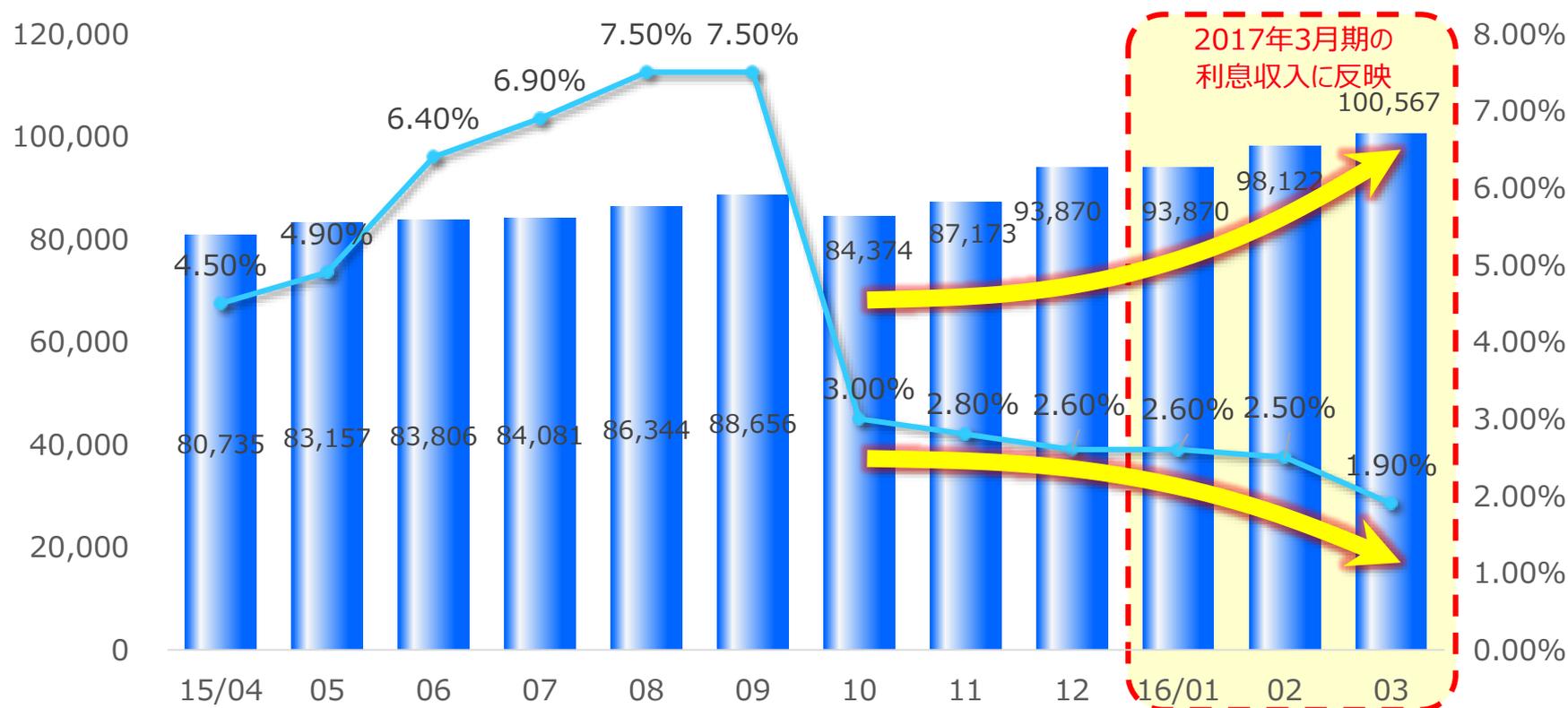
単位：億ルピア



# 営業資産は増加し、不良債権は抑制に成功

営業資産残高と不良債権比率の推移

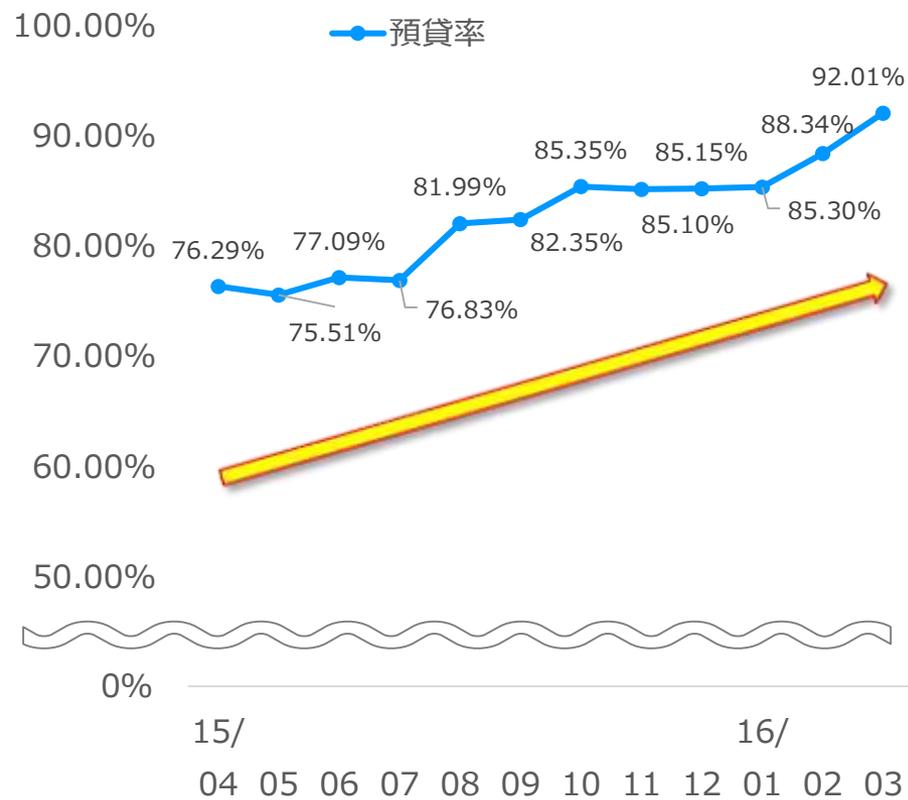
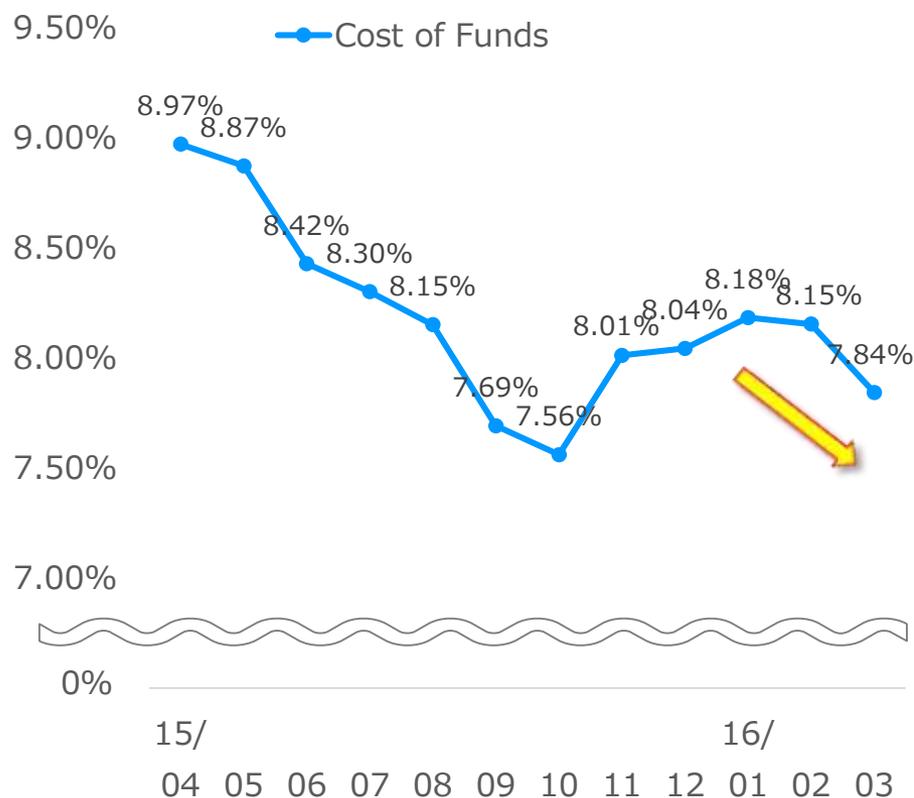
単位：億ルピア



## 利益が出る営業体質へと進歩

COF(Cost of Funds)および預貸率の推移

単位：億ルピア



## グループリース\*との協業により合弁会社を設立

インドネシア国内に販売拠点を設置 **割賦販売を通じて社会に貢献**

インドネシアの家庭内インフラを提供



※グループリース：タイ上場のリース会社  
タイ・カンボジア・ラオスにおいて日本製オートバイリースの専業会社として展開

## シンガポールを拠点に投資活動を推進

 J TRUST ASIA



- マヤパダ株の売却により、今期すでに約14億円の収益を計上予定
- GL社の転換社債を引き受け、今期約7億円の利益を見込む

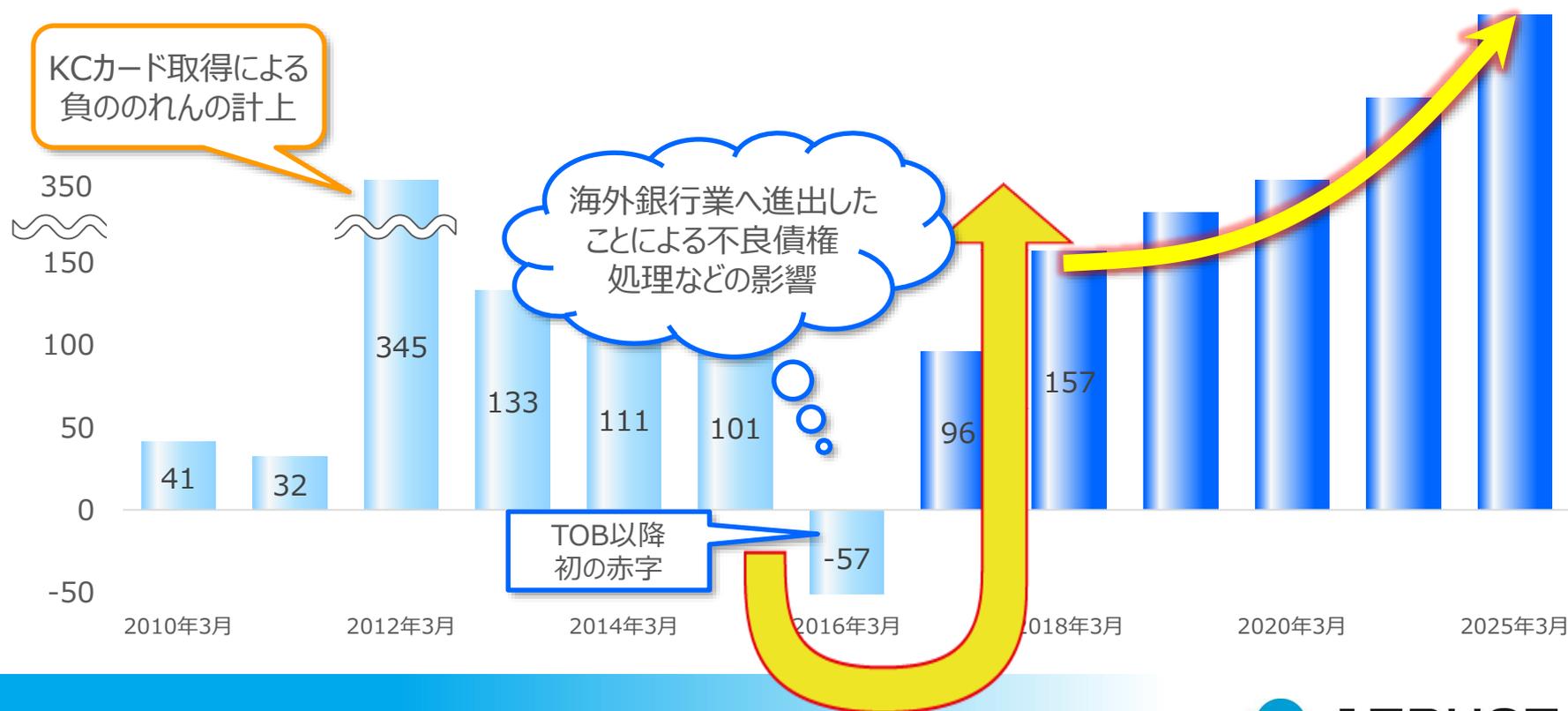


## 4. 業績

## J字回復後、持続的な成長を目指す

単位：億円

### 当期純利益の推移イメージ



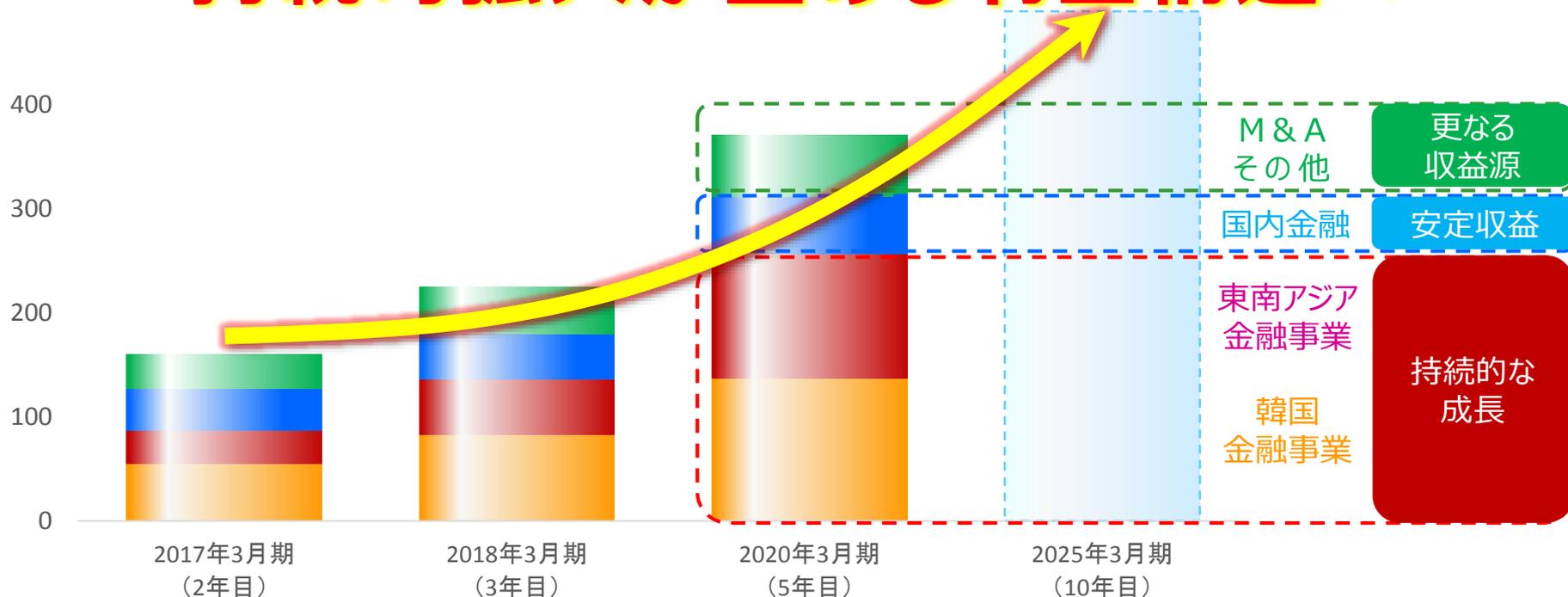
## 5. 中期経営計画

2020年売上2,000億円 営業利益350億円

営業利益の推移（予想）

# 海外銀行業中心の 持続的拡大が望める利益構造へ

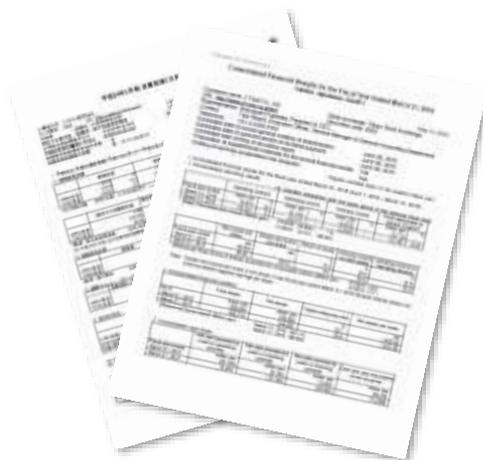
（単位：億円）



## 6. 投資家の皆様への取り組み

### 投資家の皆様への積極的な取り組み

- 決算の都度、**四半期毎に決算説明会を実施**（以前は半期に1度）
- 決算説明会動画は、**日・英2か国語で掲載**（英語は吹替え・字幕版両方）
- 決算・ニュースリリースは**日・英同時タイミングで開示**
- 決算説明資料・決算補足説明資料に加え、**月次データの開示**も開始
- **個人投資家向け説明会**の積極的な開催
- **IRイベント**への出展



## 2016年3月期における、IR活動の成果

- 日興IRの『ホームページ充実度ランキング』全上場企業約3,600社中、**19位**にランクイン！
- Jトラスト上場来**初**となるクレディスイス証券のセルサイドアナリストによるカバレッジが開始！  
(目標株価：1,500円 買い)
- ロンドン・北米・香港・シンガポール・韓国へ海外ロードショーを実施。総移動距離は**地球1周半**！ (55,000Km)

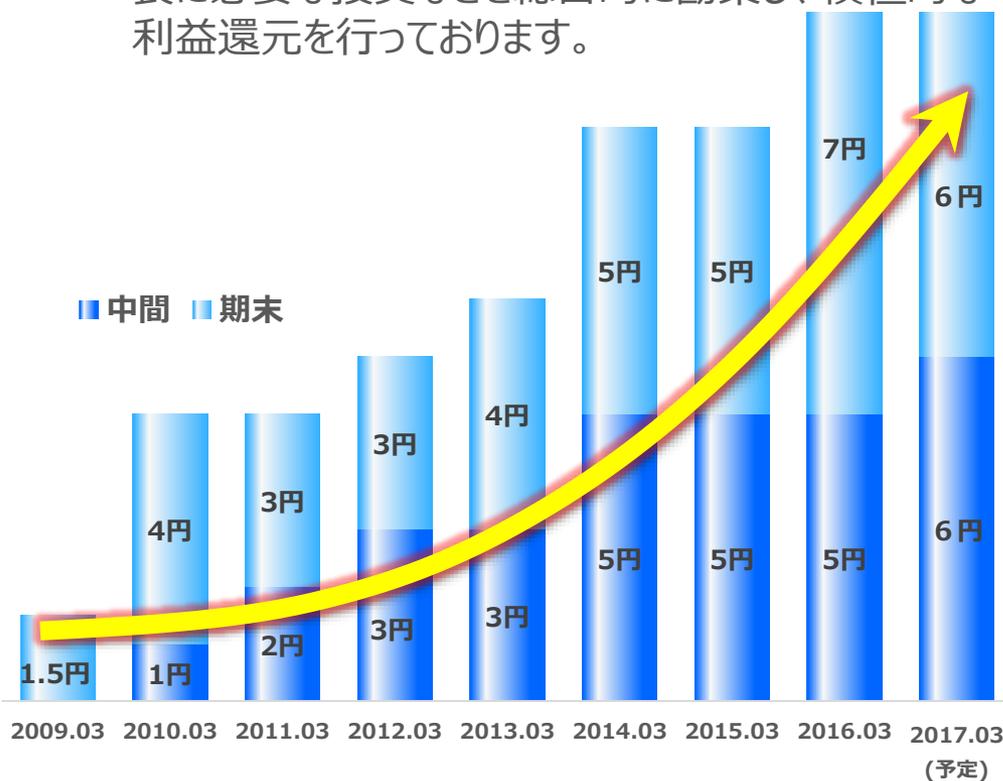




## 7. 配当政策

## 配当政策

- 株主様に対する利益還元を経営の最重要課題と考えております。配当につきましては、安定配当という考え方を重視しますと共に、将来の経営環境や企業成長に必要な投資などを総合的に勘案し、積極的な利益還元を行っております。



年度	年間配当金	中間配当金	期末配当金	配当性向 期末(%)
2017年 3月期 (予定)	12円	6円	6円	14.0%
2016年 3月期	12円	5円	7円	-
2015年 3月期	10円	5円	5円	11.6%
2014年 3月期	10円	5円	5円	9.1%
2013年 3月期	7円	3円	4円	3.3%
2012年 3月期	6円	3円	3円	1.0%
2011年 3月期	5円	2円	3円	9.2%
2010年 3月期	5円	1円	4円	7.2%
2009年 3月期	1.5円	-	1.5円	26.9%

2016年3月期の配当性向は、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

# 参考資料

## 会社概要

商号	Jトラスト株式会社 英語表記：J Trust Co.,Ltd.
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
事業内容	ホールディング業務
設立	1977年（昭和52年）3月18日
資本金	536億円
社員数	3,226名 ※連結子会社含む
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部（証券コード：8508）

発行済み株式数	112,448,354株	配当利回り	1.31
株価	917円（5月24日現在）	PBR (株価純資産倍率)	0.61
時価総額	1,031億円	EPS (2017年3月末予想)	85円56銭



## メール配信サービス

メール配信サービスのお申し込みは、当社ホームページ <http://www.jt-corp.co.jp/> にアクセスしていただき、『トップページ』の『メール配信サービス』ボタンからお入りください。

携帯からのお申し込みは、下記のコードを読み取り、必要情報を入力の上、送信してください。



トップページの『メール配信サービス』はこちらから

ご登録はこちらから



